

Lightning Talk

ONS2013に行ってきた

2013.5.27

SCSK株式会社

菊地 吾朗

自己紹介

- 氏名： 菊地 吾朗
- 所属
 - 株式会社SCSK OSS戦略企画室
- 主な業務
 - OSS技術調査、技術支援
 - 4月よりSDN関連調査を開始

ONS2013とは

- Open Networking Summit 2013
- 年に一回開催される、Software Defined Networkingのイベント（今年は第3回）
- Santa Clara Convention Centerで開催
- カンファレンスと展示会
- 2013/4/15-17

主なスピーカー企業

- Google, HP, Intel
- Arista, Bigswitch, VMWare
- IBM, Microsoft, Cisco, Juniper
- NTT, NEC, Stratosphere

OSS関連セッション - Ryu

- NTTによるRyuセッション
 - OSS SDN Framework
 - Pythonで実装
 - コンポーネントベースアーキテクチャ
 - OpenFlowインタフェース、OpenFlow用RESTインタフェース、Topology管理、VRRP、OpenStack連携、統計情報などのコンポーネントの集合
 - コンポーネント間通信が、Ryu標準メッセージングとして標準化

OSSとしてのRyu

- NTTの開発チームではRyuをOSSとすることでRyuの普及、利用を促進
- 利用ユーザーは、OSSとして自由に利用が可能
- コンポーネントインタフェースの標準化により新たな機能追加、サービスへの組み込みが容易に
- OSSユーザーは安心して自由に機能拡張が可能に (Python以外の言語でも可能)

印象に残ったセッション

- Vint Cerfキーノート
 - インターネットの父、Google VP
 - 1973年にはIPアドレスは32bitで足りるはずだっ
て言ってたけど・・・
 - 2011年に使い果たしたけど、今はIPv6の128bitア
ドレスがある・・・
- キーノートはYouTubeにて公開されている

まとめ

(全体的に感じたこと)

- 米国ではStartup企業による新しい製品開発、新技術投入が盛ん
 - データセンターネットワークのマルチテナント環境へ柔軟にセキュリティ機能を載せる仕組み
 - SDNをどうサービスに結びつけるか
- SDN/OpenFlowは実用の域に入ってきた
 - キャリアでの実績
 - 大規模導入事例
- 多くの技術はOSSとして公開されており、新たなイノベーションの余地あり